

解答

一

- 問一 ア
問二 イ
問三 イ、オ
問四 (1) 田舎者〔ただの百姓〕 (2) エ
問五 医者の女房が狡猾で番頭に嘘をついていること。／医者の女房が仙人になる術を知らないこと。
問六 イ
問七 ア
問八 エ
問九 ウ

二

- 問一 ア も イ し
問二 I オ II イ III ア IV ウ V エ
問三 ウ
問四 A 服装の自由が確立された B 多くの人に同類の服装をさせる
問五 C 多様 D 強制
問六 エ
問七 社会のゝ会現象
問八 身分制社会
問九 F イ G エ
問十 (1) ア (2) イ
問十一 エ
問十二 ウ

三

- (2) (1)
① ① ㊦
② ② ㊧
③ ③ ㊨
④ ④ ㊩
⑤ ⑤ ㊪

四

- ⑦ ① こぶ ② じゅれい ③ しゅうらい ④ ただよ〔う〕 ⑤ 郵送 ⑥ 視察
最善 ⑧ 領域 ⑨ 手招〔き〕

解説

一

- 問五 ⑤の前から、医者の女房が古狐と云う渾名の狡猾な人物であり、「それはうちへおよこしよ。うちにいれば二三年中には、きっと仙人にして見せるから。」と話して、番頭をだましていることがわかります。また、続く部分にある「お前は何と云う莫迦な事を云うのだ？もしその田舎者が、何年いても一向仙術を教えてくれぬなぞと、不平でも云い出したら、どうする気だ？」という発言から、医者の女房が仙人になる方法を知らないことがわかります。そこで、この二つについて書き表します。
問七 ⑧の前の記述から、権助が女房の指示通りに、大きな庭の松に登り、右の手を放し、左の手を放したことがわかります。落ちもせず、昼間の中空へ、ちゃんと立止った様子がまるで操り人形のように見えたことと、権助が女房の言いなりになっている様子から、選択肢アが選べます。

問三

①の後にある「ヨーロッパの場合」で始まる一文と、「身分制社会が消滅し服装の自由が確立されたときに、」という記述から、選択肢ウが最も適切です。

問十

(1) 本文の中盤で、ヨーロッパの場合、服装の自由が公に認められ、明文化されたのはフランス革命のときであり、身分制社会が消滅し服装の自由が確立されたと述べていることから、選択肢アが選べます。

(2) 最終段落には、江戸時代の「武家」や「町人階級」における、服装の自由についての説明があります。また、江戸時代の流行現象は記録に残っていても、明治以降と比べると小さなものにすぎず、「流行」とは異質で、流行現象が成立する基本条件を満たしていないことから、理由として江戸時代に身分制社会が存続していたことが考えられるので、選択肢イが選べます。